

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和 7 年 2 月 7 日
1. 初期支援（はじめのかかわり）	メンバー	14 名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組みましたか？	7 人	7 人	0 人	0 人	14 人

前回の改善計画	信頼関係を作っていく為にはコミュニケーションは欠かせない。業務に追われがちとなってしまうこともあるが、利用者一人一人の状況を把握していくためにも利用者、利用者家族、職員間のコミュニケーションを大切にする。
前回の改善計画に対する取組結果	利用間もない方にはできるだけコミュニケーションを多く取るように心がけた。またご家族や介護者に対してもその日の様子を伝えるなどできる限りコミュニケーションを図るようにした。そこで得られた情報などを業務に反映させることができた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか？	4	10	0	0	14
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか？	5	8	1	0	14
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いで声掛けや気遣いができていますか？	5	9	0	0	14
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか？	3	11	0	0	14

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
- 新規利用の方の情報は基本情報調査書、看護情報、ケース記録等で確認できている - 普段の会話を通してご本人の状況等聞き取りしたり、必要な情報はケース記録に残すようにしている - 状況の変化があった場合は会議の時だけではなく随時、職員間で話し合いを行っている - 利用間もない利用者にはできるだけ多くコミュニケーションを図るようにした	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
- コミュニケーションが難しい方、介護を拒否される方、ご家族の協力があまり得られない方等状況の把握が難しいケースもあった - 感染症発生時の説明にご家族の理解が得られないこともあった	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
利用者やそのご家族との信頼関係を作っていくためには初期支援は大切であることを念頭に今後もコミュニケーションを図っていく。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和 7 年 2 月 7 日
2. 「～したい」の実現（自己実現の尊重）	メンバー	14 名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組みましたか？	1 人	12 人	1 人	0 人	14 人

前回の改善計画	ご本人が望むこと全てに対応できないこともあるが、「〇〇したい」という気持ちを職員間で共有しながらできる限り対応するよう心掛ける
前回の改善計画に対する取組み結果	今年度は感染対策を行いながらではあるが、屋外での活動や外出活動を以前より多く行うことができた。その活動を通して利用者の方とのコミュニケーション図ることができた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	「本人の目標（ゴール）」がわかっていますか？	0	12	2	0	14
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか？	0	12	2	0	14
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか？	0	11	3	0	14
④	実践した（かかわった）内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか？	0	14	0	0	14

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・日々の関わりの中で「～したい」を把握するようにし、職員間で共有し対応を検討している ・機能訓練の希望がある方については訓練を実施し更に定期的に専門職の方にも関わってもらうようにしている ・	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・コミュニケーションの難しい方、認知症が進行している方など「～したい」を把握できない方もいる	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
今後もご本人の「～したい」にできる限り対応できるよう職員間で共有し検討していく	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和 7 年 2 月 7 日
3. 日常生活の支援	メンバー	14 名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組みましたか？	2 人	9 人	3 人	0 人	14 人

前回の改善計画	声にならない声を把握する為には普段からのコミュニケーションや職員間の情報共有が大切である。日々の変化に目を配り職員間で情報を共有しながら対応していく。
前回の改善計画に対する取組み結果	利用者、ご家族の状況は日々変化するが看護職員も含めて職員間の情報共有するように心がけた。体調悪化時など家族への連絡、報告、受診の対応を行うことができた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が 10 個以上把握できていますか？	0	8	6	0	14
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか？	6	8	0	0	14
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか？	4	10	0	0	14
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか？	5	9	0	0	14
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか？	2	8	4	0	14

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・会議、ミーティングを待たず、状態の変化に気づいた職員からリーダー、関係職員へ報告、必要時には家族への報告、通院対応など行うことができていた ・ケア方法など職員によってズレが生じてしまうことがあったが会議、ミーティングにて調整を行っている ・利用者自らできることは行ってもらようケアしている	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・利用者の生活環境について家族状況についてはある程度把握できているが、近隣との関係や居住環境についての把握があまりできていない	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
日々の変化については今後も家族、職員、関係部署、関係機関などと情報共有を図っていく。生活環境の把握については計画作成担当者がアセスメントを深め情報を職員と共有する。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和 7 年 2 月 7 日
4. 地域での暮らしの支援	メンバー	14 名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組みましたか？	1 人	7 人	5 人	1 人	14 人

前回の改善計画	加齢や疾病などにより地域との繋がりが少なくなっていくことはやむを得ない部分もあるが、事業所として地域との繋がりのお機会をできるだけ提供していけるようにする。
前回の改善計画に対する取組み結果	今年度も行事などを通して地域の子供や団体、町内会などと交流の機会を持つことができた。感染症により一部地域の行事への参加ができないこともあった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか？	0	9	5	0	14
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか？	0	9	5	0	14
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか？	0	9	5	2	14
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか？	0	8	6	14	14

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・地域の方との交流については慰問、行事、外出などを通じて行うことができていた ・以前に比べると地域と関わる機会が増えてきていると思う	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・民生委員や地域資源との関わりは主に計画作成担当者が関わって対応することが多い為職員全員が関わっている訳ではない。直接的に関わらなくても地域の民生委員、社会資源など自分たちも知る必要性がある	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
今後も地域と関わる機会をできるだけ多く作っていく	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和 7 年 2 月 7 日
5. 多機能性ある柔軟な支援	メンバー	14 名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組みましたか？	人	人	人	人	人

前回の改善計画	
特になし	
前回の改善計画に対する取組み結果	

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか？	5	8	1	0	14
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか？	6	8	0	0	14
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができていますか？	9	5	0	0	14
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか？	7	7	0	0	14

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
- 必要な方には地域の資源を活用し支援している。ケアプランを通してどのような地域の資源を利用しているか把握している - 希望に沿えないこともあるが必要に応じて「通所」「訪問」「宿泊」のサービスを柔軟に提供している	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
柔軟な対応を求められているが、突発的な対応が必要な場合定員、職員数などにより希望に沿えないこともある	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
様々な事情により支援困難な状況となってしまうことがある。自分たちの事業所だけでは限界がある為地域の関係機関等とも相談、協議しながら支援を行っていく	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和 7 年 2 月 7 日
6. 連携・協働	メンバー	14 名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組みましたか？	6 人	8 人	0 人	0 人	14 人

前回の改善計画	今後とも地域で行われる会議への参加を継続していく。
前回の改善計画に対する取組み結果	今年度も定期的に行われる地域ケア会議、関係機関と行う会議などに参加した。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	その他のサービス機関（医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所）との会議を知っていますか？	10	4	0	0	14
②	自治体や地域包括支援センターとの会議を知っていますか？	8	6	0	0	14
③	地域の各種機関・団体（自治会、町内会、婦人会、消防団等）の活動やイベントに参加していますか？	10	4	0	0	14
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか？	10	4	0	0	14

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・職員全員が地域で行われる会議には参加していないが、会議の概要、結果などケース記録や基本情報調査書などで確認することができている ・地域で行われるイベント（祭り、文化祭など）に参加することができた。 ・行事を通じて地域の高齢者や子供との交流を図ることができた	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
今後とも地域の中で行われている会議へ参加し地域の関係機関とのつながりを作っていく	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和 7 年 2 月 7 日
7. 運営	メンバー	14 名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組みましたか？	0 人	14 人	0 人	0 人	14 人

前回の改善計画	今後とも面談、会議等だけではなく、普段の業務中など意見を言いやすい機会を作り、スタッフの意見を吸い上げるようにする。
前回の改善計画に対する取組み結果	管理者、介護主任、介護副主任と定期的に個別面接の機会を作った。また業務の流れを見ながらではあるが、業務中も意見を交換する機会を持つことができた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができていますか？	0	13	1	0	14
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか？	2	11	1	0	14
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか？	0	11	3	0	14
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取り組みを行っていますか？	0	11	3	0	14

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・利用者等からの苦情について内容にもよるが傾聴するようにし、不快な思いをした場合はまずはその場で謝罪するよう心がけた。できる限り速やかに対応するよう心掛けた。苦情受付担当者、苦情解決責任者への報告、苦情委員会での検討を行った。 ・苦情があった場合は必ず職員間で共有した ・会議という形にこだわらず、普段の業務の中で職員同志の意見交換を行った	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
・今後も面談、会議等だけではなく、普段の業務中など意見を言いやすい機会を作る。 ・直接的に苦情、意見を言えない方もいると思うので普段の様子などコミュニケーションを通じ早めに把握できるようにする	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和 7 年 2 月 7 日
8. 質を向上するための取組み	メンバー	14 名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組みましたか？	3 人	11 人	0 人	0 人	14 人

前回の改善計画	引き続き内部、外部の研修への参加を継続していく。業務上必要と考えられる研修は何度でも繰り返し参加していく
前回の改善計画に対する取組み結果	計画的に内部研修へ参加することができた。回数は少なかったが外部研修にも参加することができた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	研修（職場内・職場外）を実施・参加していますか	8	6	0	0	14
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	8	6	0	0	14
③	地域連絡会を知っていますか （地域ケア会議など）	6	8	0	0	14
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか	7	7	0	0	14

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・内部研修には計画的にスタッフの全員が参加しレポート提出を行った。必要なスキルを繰り返し学ぶことができた ・数名ではあるが資格取得の為に研修に参加できた ・リスクマネジメントの為にヒヤリハットの情報をスタッフ全員が共有できた	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・地域ケア会議には計画作成担当者が出席しているが、介護スタッフは直接的に参加することはなかった	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
今後も内部研修への参加が中心とはなるが、できる限り外部研修にも参加し繰り返し、継続し必要なスキルを身に着ける	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和 7 年 2 月 7 日
9. 人権・プライバシー	メンバー	14 名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組みましたか？	3 人	11 人	0 人	0 人	14 人

前回の改善計画	身体拘束、虐待、プライバシー保護については常に意識がないと気づかずに行ってしまうことが考えられる。本人はその意識がなくても第三者から見た場合どう感じるのか考えながらケアにあたっていく。
前回の改善計画に対する取組み結果	身体拘束、虐待、プライバシー保護について研修を繰り返し行い意識を持つことができた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	身体拘束をしていない	11	3	0	0	14
②	虐待は行われていない	11	3	0	0	14
③	プライバシーが守られている	8	6	0	0	14
④	必要な方に成年後見制度を活用している。 または知っている	2	12	0	0	14
⑤	適正な個人情報の管理ができています	9	5	0	0	14

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・身体拘束、虐待行為なくケアを行うことができた ・利用者に関わる個人情報の管理は外部へ持ち出さない、決まった場所で管理するなど管理できている ・忙しい場面などは意識的に態度、言葉に気をつけるよう意識した	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・成年後見制度はなんとなくわかるが詳しくは理解していない。現在の利用者の中で利用している人はいないが必要なのではないかと思う方もいる ・現場で職員間で利用者の情報共有することがあるがそばに利用者がいる時もある。プライバシーが守られていない時もあるのではないかと思う。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
身体拘束、虐待、プライバシー保護については常に意識を持つことが必要である。継続的な研修を受講し意識を持ちながらケアにあたっていく。また職員間で情報共有する場合は利用者から離れた位置で行うよう意識する。	

令和 6 年度 小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	社会福祉法人桜木会	代表者	濱崎正明	法人・事業所の特徴	当事業所では法人理念である「誠意をもって、誠実に真剣に～小さなことにも真心こめて」を踏襲し、「気配り、目配り、心配り」を理念に掲げサービス提供にあたっている。
事業所名	小規模多機能型居宅介護おおみなと園	管理者	石田忠臣		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1 人	1 人	5 人	0 人	1 人	0 人	0 人	4 人	0 人	12 人

項 目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取り組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	今後も職員個々の自己評価、ミーティングを通じての事業所自己評価を継続して行い振り返り、見直しなどの機会を作る。	職員個々の自己評価、ミーティングを通して事業所自己評価を行い個々に業務の振り返りができていた。	事業所のあり方について職員が意見を述べやすい環境を整備して欲しい。	自己評価、事業所自己評価は継続し振り返りの機会を作る。全スタッフが揃ってのミーティングは難しいが時間をずらしながら全スタッフがミーティングに参加できるようにする。
B. 事業所のしつらえ・環境	今後も感染、事故等の予防、快適な場を提供できるよう環境整備を行っていく。	感染予防・拡大防止、事故等の予防を考えながら看護師との連携や委員会を開催し環境整備をおこなうことができた。	今年度も感染予防対策の為施設内の一部しか確認できなかった。	今後も感染予防、感染者が発生した場合の対策など安全、快適な生活環境を整えていく。
C. 事業所と地域のかかわり	地域の感染状況を確認しながらできる限り地域と関わる機会を作っていく。	地域の感染状況を確認しながら地域の行事などに参加することができていた。	感染対策をしながら地域との交流を行っていることが確認できた。	例年同様ではあるが地域の感染症の動向を確認しながらできるだけ地域と関わる機会を作る。
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取り組み	施設、在宅サービスなど他の事業も行っているメリットを生かし地域の中で信頼できる事業所となるよう地域との関わりを継続していく。	サービス利用している方の状態等により併設事業所との連携を図り地域での生活を継続していけるよう支援した。	今後も利用者の方が快適に楽しく過ごせるよう行事など検討して欲しい。	行事などを通じ地域との関わりを継続し事業所を知ってもらおう。併設事業所や関係機関との連携を図り地域での生活を継続していけるよう支援していく。
E. 運営推進会議を活かした取り組み	運営推進会議の中で意見、質問など今後も頂くために、具体的にわかりやすく報告できるよう努める。	運営推進会議を通して個人情報には注意しながら取り組みや事故、ヒヤリハット事例など報告することができた。	サービス利用者の状況が一覧になっておりわかりやすかった。	今後も運営推進会議を通じて運営状況や取組をよりわかりやすく伝えられるよう努める。
F. 事業所の防災・災害対策	訓練の状況を見て頂くことや、防災計画を見て頂き意見、アドバイスをもらい計画に反映する。	年に数回行う避難訓練を見学してもらった。また運営推進会議の中で避難訓練についての報告を行った。	事業所の避難訓練の見学に参加できなかった。	災害が実際に発生した場合訓練通りには行かないことが考えられるが、訓練を継続し行っていく。また可能であれば推進会議委員の方へ訓練の見学をしていただく。

